



人権擁護委員さんから「人権の花」の贈呈

思いやる心を大切にしよう!

「人権の花」贈呈式

6月23日、本郷小学校で「人権の花」贈呈式が行われました。

「人権の花」運動は、地域人権啓発活動活性化事業の一環として、児童が協力して花を栽培することで、思いやりの心を育て人権への理解を深めることを目的に行っています。人権擁護委員から、マリーゴールドやブルーサルビアなどがプランターと一緒に贈呈されました。

みんなで私に会いに来てね!

「かんぴょうまっきー」ちゃんお披露目

6月26日、第91回ふれあい朝市の会場で、「かんぴょうまっきー」ちゃんのお披露目会が行われました。

かんぴょうまっきーちゃんは、町特産のかんぴょうを使用した「かんぴょう巻」をイメージしたキャラクターで、今年2月に誕生しました。

まっきーちゃんの登場に、こどもたちから「かわいい」と声が上がりました。今後は、町内のイベントなどで活躍します。



子どもたちに大人気の「かんぴょうまっきー」ちゃん



プールではしゃぐ園児たち

冷たいプールでおおはしゃぎ!!

上三川幼稚園でプール開き

6月28日、上三川幼稚園でプール開きが行われました。

最初は少し緊張しながらプールに入っていた園児たちでしたが、次第になれてくるととても楽しそうに遊んでいました。

水遊び用のボールなどで、元気に遊ぶ園児たちの楽しそうな声が響き渡りました。

美しい音色に耳を傾け

町民ホールでコンサートを実施

6月28日、町庁舎の町民ホールで宇都宮市の市民演奏合奏団で町民の方も団員として活躍している「アンサンブルGEN宇都宮」のコンサートが行われました。

このコンサートは「町民ホール一般開放事業」として実施されました。地域の芸術、文化活動の振興やイベントの情報提供などの目的に限り、町民ホールの無料開放を行っています。



お昼休みに優雅なひととき



消火技術を競う

上三川町消防団夏季点検・消防操法大会

7月2日、富士山公園で上三川町消防団夏季点検及び第49回消防操法大会が開催されました。

消防団員の消火技術の向上と士気の高揚を図り、併せて、地域防災体制の確立を目的に毎年実施しています。

今回の操法大会では、ポンプ車の部で第3分団第2部が、また、小型ポンプの部で第2分団第4部が第1位に輝きました。

成績

順位	ポンプ車の部	小型ポンプの部
1位	第3分団第2部	第2分団第4部
2位	第2分団第1部	第1分団第4部
3位	第3分団第3部	

優秀選手

ポンプ車の部		
指揮者	第3分団第3部	大島賢史
1番員	第2分団第1部	中三川春樹
2番員	第3分団第3部	深澤優一
3番員	第3分団第2部	杉山信幸
4番員	第3分団第2部	野沢敦史
	第3分団第3部	見目康宏

小型ポンプの部		
指揮者	第3分団第4部	稲葉康雄
1番員	第1分団第4部	齋藤崇晴
2番員	第2分団第4部	坂本和佐
3番員	第2分団第4部	岡本正男



第2線放水はじめ（ポンプ車の部）



放水はじめ（小型ポンプの部）



ポンプ車の部で第一位に輝いた第3分団第2部



大会を盛り上げた明治中学校吹奏楽部



小型ポンプの部で第一位に輝いた第2分団第4部



保護司の稲葉分区長より法務大臣メッセージの伝達

青少年を非行から守ろう！

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動の「街頭啓発」が、上三川高校、町内のスーパーマーケット、石橋駅東口で、社会を明るくする運動推進委員会主催により行われました。

関係各団体から約100名が参加し、更生保護女性会員による手づくりの雑巾などを配付して、非行防止等を呼びかけました。また、7月12・14・15日には、町内各所で「ミニ集会」を開催。警察官による講話、保護司会員による寸劇や参加者によるフリートーク等が行われました。

暑さなんて吹き飛ばせ

大山保育所で楽しい夏祭り

7月5日、大山保育所で夏祭りが行われました。

子どもたちは法被に着替えて元気いっぱい。おみこしを担いで園庭を練り歩いた後は、「うんとこよさこいソーラン」と「マルマルモリモリ」をみんなで楽しく踊りました。

その後子どもたちは、かき氷やからあげの模擬店でお祭り気分も最高潮。楽しい1日となりました。



みんなで元気に「マルマルモリモリ」



一所懸命に清掃する生徒たち

清掃作業で奉仕の精神をつちかう

明治中学校2年生がトイレ清掃

7月8日、職業観の育成や労働意識高揚の一環として、清掃活動を行ないました。今年で3年目になる活動です。事前に、NPO法人栃木清掃に学び会の方々の清掃を見せていただいたり、講話を聴き、当日は出身小学校や公共施設、協力施設など12か所でトイレ清掃を行ないました。

役場のトイレでは生徒たちが一所懸命に清掃活動を行い、この活動のスローガンである「清掃は自分磨き・心磨き」を感じました。

明治南小の精鋭5名が奮闘

子供自転車県大会に出場

7月8日、鹿沼総合体育館（フォレストアリーナ）で、第45回交通安全子供自転車栃木県大会が開催され、下野地区代表として明治南小学校の（前列左から）曾根佑大くん、野口琴美さん、八木澤清蓮さん、三浦滯さん、高山美海さんが出場しました。

この日のために休み時間の全てを使って練習し、本番では練習をサポートしてくれた友達に分まで一生懸命頑張りました。



県大会に出場した選手の皆さん

交通安全母の会が県優良団体表彰

6月15日、栃木県公館で「県民の日記念式典」が行われ、上三川町交通安全母の会が、交通安全功労・優良団体として表彰を受けました。

上三川町交通安全母の会は、昭和48年に「交通安全は家庭から」を合言葉に発足して以後、多年にわたる交通安全活動により、県民の交通安全意識の高揚に大きく貢献しており、その功績が認められたものです。



県優良団体表彰を受賞した交通安全母の会

人権擁護委員表彰

6月24日、栃木県人権擁護委員連合会大会において、町人権擁護委員の大橋佳夫さんが宇都宮地方法務局長感謝状を、同じく深谷和子さん、鈴木武夫さん、岡本貞子さんが栃木県人権擁護委員連合会長表彰を受けました。

これらの表彰は永年にわたり人権擁護活動に尽力され、その功績が特に顕著であると認められたものです。



大橋佳夫さん



深谷和子さん



鈴木武夫さん



岡本貞子さん

春の危険業務従事者叙勲

山口政明さんが「瑞宝双光章」、渡辺明さんが「瑞宝単光章」を受章されました。

山口さんは1960年に警察官となり、退職されるまで多年にわたり県民の安全に寄与した功績が認められたものです。

渡辺さんは1968年に自衛隊に入隊し、退官されるまで多年にわたり日本の防衛に寄与した功績が認められたものです。



山口政明さん

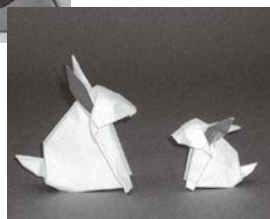
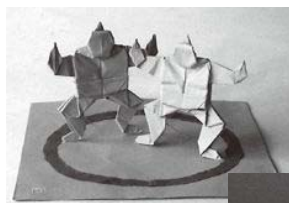


渡辺 明さん

☎ 9159

生涯学習係
生涯学習課

▼問い合わせ先▼



▼観覧料 無料

▼会場 上三川いきいきプラザ
1階ホール

▼日時 8月5日(金) 9時～30日(火)

▼折紙特別展示

念事業を開催します。

家吉澤章先生を偲び、

上三川町出身の世界的折紙作家

吉澤章先生を偲び、

念事業を開催します。

上三川町出身の世界的折紙作家

吉澤章先生を偲び、



いさましいかけ声が上三川通りに響き渡りました

大人も子どもも「ワッショイ!!」 かみのかわ町おこし夏祭り

7月16日、上三川通りで「かみのかわ町おこし夏祭り」が開催されました。

上三川通り約1.5キロを歩行者天国にして、八坂神社の大御輿やちょうちんで飾られた万灯みこしの他、地域の自治会や事業所のみこしも参加しました。

担ぎ手のかけ声や山車が演奏する祭りばやしでお祭りは最高潮、沿道には多くの見物客が訪れ、お祭りを楽しみました。

七夕飾りを子どもたちと 本郷北いきいきサロン

本郷北いきいきサロンでは、らくらく隊の協力を得て、ふざかしおひさま保育園に七夕飾りを行いました。

昼食は子どもたちと一緒に飾りを見ながら美味しく食べ、孫の顔を見るように笑顔がいっぱいでした。



きれいなお飾りをありがとうございました

▼問い合わせ先
企画課 情報広報係
☎9117

身近な話題をお寄せください
皆さんの身の回り（地域や家庭）で起きた出来事を広報紙や上三川町ホームページに掲載してみませんか。ご連絡をお待ちしています。

お手製の絵手紙を短冊に

坂本好雄さんが、「震災に負けずに元気を出して、特にお年寄りやお子さんに楽しんでもらいたい。」と、約200枚の絵手紙を書き上げ、町内の保育所やデイサービスセンター、コミュニティセンターなど15カ所の施設に絵手紙の短冊を配りました。



町民の方からのお便りを紹介します

週3・4回、磯川緑地公園を利用しています。こんなに緑が多い場所での散歩は、暑さも忘れ、日々の移ろいを感じながら1時間ほど。自分の健康と公園にきた人たちとの「ふれあい」を楽しむのも一つの理由なのです。

祖父と歩くお孫さんの昆虫探しは、おじいちゃんの知恵袋がいっぱい。パパときた男の子はザリガニ捕り。町外幼稚園の元気な声の主たちはザリガニ探し。多勢の高校生は、合宿の一環で公園での散策。

そして一番嬉しく温かな気持ちになった「ふれあい」は、若い父親が赤ちゃんを前にだっこしてゆったりと散歩している姿です。寒い時期でしたが、パパの温かな懐の中で赤ちゃんは幸せな寝顔でした。イクメンパパは磯川緑地公園にとってもお似合いです。

せせらぎ広場近くにある二重・三重に円を描いているブランコのような木、大雨の後にだけ出現するハート型のミニミニ池…。自分だけが思う部分は、日々公園に通うための楽しみの一つでもあります。